動き出したモビリティ革命「マース」―MaaS(Mobility as a Service/移動サービスの連携・統合)必携情報

~事業者(鉄道・バス・タクシー等)と地域(自治体・市民・産業界)の有機的連携とMaaSの実装化へ

- □日本版MaaS政策の展開、MaaS構築とこれからの交通まちづくりのマネジメント方策
- □MaaSの多様性・プレイヤー連携・マーケティングと交通計画・新都市計画への応用可能性
- □交通事業者・西鉄のMaaS戦略、MaaSが都市・交通問題解決に与えるインパクトとモビリティ革命像

### >>> 講師陣

城福 健陽 氏/国土交通省総合政策局公共交通政策部長 阿部

政貴 氏/西日本鉄道㈱自動車事業本部 計画部計画課

吉田 樹 氏/福島大学経済経営学類准教授 国土交通省「都市と地方の新たなモビリティ サービス懇談会」委員

牧村 和彦 氏/一般財団法人計量計画研究所理事兼 研究本部企画戦略部長

藤垣 洋平 氏/小田急電鉄㈱経営戦略部

10.00~16.55

>>>	日時·会場 2019年2月12日 (火) 10:00~16:55 自動車会館·会議室(東京·千代田区)
時	講 義 内 容
10:00	1. [基調講演]地域公共交通イノベーション〜地域公共交通と日本版MaaSの展開〜 国土交通省総合政策局 1. 地域公共交通を巡る現状・課題
11:10	3. 地域公共交通のイノベーションに向けた取組み 【質疑応答】 (1) 平成31 (2019) 年度の関係予算等の取組み (2) 日本版MaaS等新たなモビリティの展開への取組み ※ 城福氏はパネル討論には参加しません。 2. [基調報告] MaaSの実装―近未来のモビリティ革命と交通まちづくりの展開
	MaaSの構築から交通まちづくりへの展開-プレイヤーの連携と公共交通マーケティングが鍵を握る- 福島大学経済経営学類准教授 吉田 樹 氏
11:20	1. 自家用車の保有・運転に代わる選択肢-MaaSへの期待 4. 求められるプレイヤーの連携と公共交通マーケティング 2. 地域の課題解決や将来像を描くために-MaaSが目的化することへの警鐘 5. 大都市と地方部で異なるMaaSの成長過程 3. 多様なモビリティをフィジカルな空間へどうなじませるか 6. 交通事業者と行政に求められるリテラシー
	首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント、同助教を経て、2012年3月より福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授。2013年4月より現職。 専門分野は、地域交通政策。 国土交通省社会資本整備審議会道路分科会専門委員等。交通基本法案の検討に関わったほか、八戸市、三沢市、十和田市、北上市、山形市 武蔵野市、茨城・五霞町などの公共交通政策や交通まちづくりの計画策定・運用・推進に携わる。
13:00	MaaSが目指す世界観と交通計画への応用可能性         小田急電鉄㈱経営戦略部 藤垣 洋平 氏           1. MaaSの実践例―フィンランドのWhimの事例紹介―         3. MaaSの発想を活用した地域公共交通計画の新展開           2. 多様なMaaSの捉え方と共通点―目標とする世界観―         4. 郊外向けMaaSの可能性―東京大学が実施した調査結果から―
13:45	東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。2017年より日本学術振興会特別研究員として、MaaSなどの統合モビリティサービスの設計・計画手法についての研究を推進。大都市圏向けのMaaSあり方「Metro-MaaS」の提案と需要評価に関する論文で、日本都市計画学会2017年年間優秀論文賞を受賞。
13:45	西日本鉄道のMaaS戦略~マルチモーダル検索サービスの実用性検証とこれから向かうべき方向性~西日本鉄道㈱自動車事業本部 計画部計画課1. バス事業の課題とMaaSの活用 ~マルチモーダル推進による地域ネットワーク維持の可能性~ 2. トヨタ自動車様との連携 ~「my route」によるマルチモーダルルートアプリの実用性検証~3. 民間交通事業者から見たMaaS実現への課題 ~民間中心の日本の公共交通をどう連携させるのか~ 4. バス会社はMaaSにどう関わっていくべきか ~厳しい事業環境下でMaaSにどのように参画していくか~
14.50	[my route(マイルート)とは]公共交通(バス・鉄道・地下鉄など)、自動車(タクシー・レンタカー・自家用車など)、自転車、徒歩など、さまざまな移動手段を組み合わせてルートを検索し、必要に応じて予約・決済まで行うことで移動をサポートするスマートフォン向けマルチモーダルモビリティサービス。
14:30	MaaSと交通まちづくり~モビリティ革命と新都市計画~       一般財団法人計量計画研究所理事兼研究本部企画戦略部長理事兼研究本部企画戦略部長理事兼研究本部企画戦略部長ない。         1. モビリティ革命を牽引するMaaS ~先進都市の革新的な将来交通ビジョンとMaaSの位置づけ~       牧村 和彦 氏         2. MaaSが都市に与えるインパクト ~MaaSが都市問題をどのように解決するのか~       3. MaaSと交通まちづくり ~街路空間、駐車場、住宅オフィス、スマートシティを考える~
15:15	1990年一般財団法人計量計画研究所 (IBS)入所。東京大学博士 (工学)。南山大学非常勤講師。都市・交通のシンクタンクに従事、将来のモビリティビジョンを描くモビリティデザイナー。代表的な著書に、「MaaS〜モビリティ革命の先にある全産業のゲームチェンジ (編著/日経BP/2018.11刊)」、「バスがまちを変えていく〜BRTの導入計画作法 (IBS出版)」、「交通まちづくり〜地方都市からの挑戦 (共著、鹿島出版)」、「モビリティをマネジメントする〜コミュニケーションによる交通戦略 (共著、学芸出版社)」、「2050年 自動車はこうなる (共著、自動車技術会)」等多数。
15:30	3. [パネル討論]人口減少・超高齢社会のモビリティ革命―MaaSの構築・利活用と交通まちづくりの推進戦略 [司 会] 吉田 樹 氏(福島大学)
16:55	[パネラー] 藤垣 洋平 氏(小田急電鉄)/阿部 政貴 氏(西日本鉄道)/牧村 和彦 氏(計量計画研究所)

# |<sub>新刊|</sub>|福祉と交通が連携した外出支援サービスとまちづくり

自由学園

溝端



# 超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略

●定価: 5,346円(税·送料込/本体4,950円)

●研修会参加者特価:4.950円(税・送料込)

●体裁: A4版/198頁 ●発刊: 2018年7月25日

~ウルトラ高齢・労働人口減少時代のバス・タクシー活用と市民参加の方策

光雄

溝端 光雄 / 自由学園最高学部講師、元東京都老人総合研究所室長 三星 昭宏 / 近畿大学名誉教授、関西福祉科学大学客員教授 福島大学経済経営学類准教授 鈴木 文彦 / 交通ジャーナリスト

本書を推薦します

中村 文彦 <u>/久保田</u>尚 埼玉大学大学院理工学研究科教授 鬼塚 正徳 特定非営利活動法人 せたがや移動ケア事務局長 横浜国立大学理事・副学長

#### [第1章] ウルトラ高齢時代の交通環境論

- 1. ウルトラ高齢化と社会活性
- 2. 歩行支援と移動手段
- 3. 運転支援と移動手段
- 4. 活老と近未来の地域づくり

### [第2章] 超高齢社会に求められる地域公共交通の戦略と戦術 ~路線バスから「小さな交通」までのネットワーク化~

- 1. 地方圏で懸念される交流機会の減少
- 2. 地域交通政策のベンチマーク「交通政策基本法」
- 3. 公共交通網の軸としての「居住」
- 4. 「拠点」を明確にしたネットワークの構築
- 5. 誰が暮らしの足を支えるか
- 6. 拡がる「ニッチ(隙間)」・・・・「小さな交通」への期待
- 7. 暮らしの足を支える起点
- 8. 地域住民による「暮らしの足」の確保
- 「暮らしの足」としてのタクシーの選択性向上策と「運賃」
- 10. 「暮らしの足」確保は「総力戦」

# [ 第3章 ] 自家用有償運送、互助運送の活用と福祉・運輸部門との連携

- 1. 福祉有償運送(福祉移送・自家用有償運送)サービス
  - 近畿大学 三星 昭宏
- 2. 地域公共交通をとりまく情勢
- 3. 障害者の身体条件と交通手段
- 4. 改正道路運送法(2006年施行)と自家用有償運送
- 5. 枚方市の福祉移送サービスの事例と今後の課題
- 6. 国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」 中間とりまとめと、それを受けた平成30年4月の政府文書について

#### 福島大学 吉田 樹 [第4章]地域交通の生き残りをかけた「貨客混載」戦略とその先 ~社会インフラとしてのバス・タクシーの限界と可能性~

- なぜ、客貨混載なのか?
- 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 2. 公共交通は社会のインフラ
- 3. バス・タクシー事業におけるドライバー不足と高齢化の影響
- 4. 複数モードのコラボレーションのこれまで
- 5. 期待が高まる「貨客混載(客貨混載)」の仕組みと現状
- 6. 「客貨混載」の効果・可能性と貨物車に人を乗せる新たな発想
- 7. 今後への展望

[ 第5章 (資料(抜粋))] 国土交通省・厚生労働省の政策情報

- 高齢者の移動手段確保のための交通・福祉制度の解説-

● 定価: 5,076円(税·送料込/本体4,700円)

●研修会参加者特価: 4,700円(税·送料込) ●体裁:B5版/170頁 ●発刊:2018年7月25日

#### 新刊 労務倒産時代の生き残り戦略



本書を推薦します

# タクシー・イノベーションと乗務員不足対策への挑戦

~ライドシェアの先を見据えた経営改革とサービス開発~

筆] 貞包 健一 /恂三ヶ森タクシー代表取締役(北九州市) [前書き] 大井 尚司 /大分大学経済学部門准教授 「執

一橋大学大学院経営管理研究科教授 山内 弘隆

/吉田 樹 福島大学経済経営学類准教授 / 鬼塚 正徳 特定非営利活動法人 せたがや移動ケア事務局長

#### 序(前書き) 交通事業イノベーションの可能性

- 大分大学 大井 1. 地域公共交通の現場を襲う「人手不足」
- 2. 地域公共交通に「イノベーション」は起きるのか
- 3. 本書の発刊の意味を考える

# 第1章 道路運送制度の変遷とタクシー産業

- 1. 道路運送制度と運賃制度の変遷
- 2. タクシー事業の変遷
- 3 タクシー事業の課題

### 第2章 ライドシェア躍進の背景とタクシー事業

- 1. 躍進するライドシェアのシステムとその実例
- 2. ライドシェアが躍進した事由
- 3. ウーバードライバーの特徴と評価
- 4. ウーバーとタクシーのサービス比較

# 第3章 タクシーのイノベーションに向けて

- 1. ライドシェアから学べること 2
  - 「タクシー」サービスの検証
- 5. タクシーサービスと移送モード

4. タクシー運賃の不思議

3. フレキシブルなタクシー運賃とは

#### 第4章 規制改革推進会議への提案~提案のねらい、結果とタクシー版働き方改革案~

- 1. コスト切り下げの工夫と制度の改正
- 2. 規制改革推進会議への提案 ~その背景・経過とタクシーの高付加価値化~
- 3. タクシー改革と働き方改革

# |第5章[タクシー生き残り宣言]タクシーの公共交通化と地域創生戦略

- [光タクシー/北九州市] タクシーの地域交通化と生き残り戦略

(株)光タクシー 石橋 孝三

及川 孝

[三ヶ森タクシー/北九州市] タクシーサービス開発への挑戦

#### [MaaS研修会の参加要領]

【申込書

日 時: 2019年2月12日(火) 10:00~16:55

会場:自動車会館会議室 東京都千代田区九段南4-8-13(案内図は申込後送付)

■申込方法: 下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX・郵送・メール等)。 ※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

# ■参加費(1名分)

当日参加 メディア参加 行政・議員 25,000円 22,000円 35,000円 32,000円 般

「ィア参加申込の方へは、研修会開催後にCD(講演収録)と資料及び請求書 三菱UFJ銀行神田支店 をお送りします。なお、牧村氏のご講演、パネル討論は収録されません

# ■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・ 現金書留)、当日払い

連絡担当者

みずほ銀行麹町支店 三井住友銀行麹町支店

普通1159880 普通7411658 普通5829767 郵便振替:00110-8-81660 口座名:㈱地域科学研究会

お問い合わせ: 03-3234-1231

# 地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/ FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『MaaSの構築・活用戦略と交通まちづくり方策』 : 口当日参加 ロメディア参加

□『タクシー・イノベーションと乗務員不足対策への挑戦』\_ 冊

所在地下 勤務先

TEL E-mail

〈通信欄〉○をつけてください

参加者氏名 所属部課役職名

希望欄に印を入れて下さい

・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)

· 必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付,連絡,請求,案内等)のみに使用させていただきます。

(請求書宛名等)